

「千葉市まちづくり未来研究所」 市民シンクタンク（モデル事業）の 研究員を募集します！！

本市のまちづくりに関心を持つ方々が、自ら課題解決のため、それぞれが有する識見のもと、市政に参画していくための仕組みの一つとして、「千葉市まちづくり未来研究所」をスタートします。

「千葉市まちづくり未来研究所」とは、研究テーマについて知識・関心のある公募による研究員が、自主運営によるグループワーク等を通じ、政策提言をとりまとめ、さらに、その提言の実現に向け、様々な活動に主体的に参画していただく仕組みであり、研究員による活動そのものが「千葉市まちづくり未来研究所」となります。いただいた提言は、可能なものについて、市の施策に反映していきます。

研究テーマ	<p style="text-align: center;">「自転車によるまちづくり」</p> <p>【本市と自転車 ～テーマ選定の背景～】</p> <p>自転車は、通勤・通学・買い物などの移動手段としての役割に加え、環境への負荷が少なく、健康の増進にもつながるとされる、身近な乗り物です。最近では、「サイクルツーリズム」など、レクリエーションとしての一層の広がりも注目されています。</p> <p>本市では、起伏の少ない平坦な地形や豊かな緑・水辺環境などの都市の資源をさらに活用し、安全で快適な自転車走行環境、集客観光やマナー向上など幅広い要素を含めた、一体的な「自転車によるまちづくり」について条例制定に向けて取り組んでおり、研究による政策提言を反映させようとするものです。</p>
活動内容	<p>(1) 研究テーマに対し、公募による研究員の様々な分野の識見をもとに、相互のグループワーク等を通じて、自ら課題解決のための研究を実施します。</p> <p>(2) 研究方法やスケジュール等は、自主運営として研究員のグループワーク等により決定していきます。</p> <p>(3) 研究員はグループワーク等の成果として政策提言を行い、その実現に向け、様々な活動に参画します。</p>

応募資格	<p>ア 中学生以上で、本市在住、在勤、在学であること。</p> <p>イ 研究テーマに対する知識及び関心を有すること。</p> <p>ウ 自主運営によるグループワーク等を通じた参画ができること。</p> <p>※なお、とりまとめた提言の実現のための事業等への参画も研究員の重要な要素・条件の一つとなります。</p>
募集人員	10～20名程度（※研究員は無報酬です。）
応募方法	<p>(1) 申込書の配布</p> <p>ア 市役所1階 案内又は各区役所地域振興課</p> <p>イ 市ホームページからダウンロード</p> <p>(2) 提出先：政策企画課（下記参照）</p> <p>(3) 提出書類</p> <p>ア 応募申込書 1部</p> <p>イ 小論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テ ー マ：自転車によるまちづくりへの展望 自転車によって、どのようなまちづくりができるのか、その可能性やどのようなことを目指していきたいかなど、記述ください。 ・文 字 数：800字程度 ・使用言語：日本語 <p>(4) 応募方法</p> <p>ア デジタルデータでの提出</p> <ol style="list-style-type: none"> ①E-mailの添付ファイルとして送信 ②CD-R(W)を郵送又は持参 <p>イ 紙媒体での提出</p> <p>郵送、持参</p> <p>ウ ファクシミリ</p> <p>(5) 提出書類は返却しないものとします。</p>
応募期間	平成26年8月1日（金）～平成26年8月29日（金）
応募者選考	<p>審査は、総合政策局に「千葉市まちづくり未来研究所（市民シンクタンクモデル事業）研究員選考委員会を設置し、書面及び小論文、面接審査により選考します。</p> <p>なお、選考結果は、書面により応募者全員に通知いたします。</p>
政策提言までの活動期間	平成26年10月から1年程度（予定）

（問合先及び提出先）

総合政策局総合政策部政策企画課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号 千葉市役所5階

電話：043-245-5057 FAX：043-245-5534

mail：kikaku.POC@city.chiba.lg.jp